

令和6年度 本巣松陽 Weekly 2月

2月28日（金） 卒業証書授与式予行、部活動等表彰式、同窓会入会式



卒業証書授与式の予行、部活動等表彰式、同窓会入会式を行いました。

1・2年次生は年度末考査が昨日で終わり、午前中はテスト返却でした。3年次生は自宅学習期間が終わり、午後から久しぶりに登校しました。

部活動等表彰式は、部活動等において特に顕著な成果を収め、本校の名誉を高めた3年次生に対し、この功を称えて表彰するものです。本年度は、バレーボール部、ソフトボール部、陸上競技部、書道部、吹奏楽部、生徒会の生徒が表彰されました。

同窓会入会式は、卒業と同時に同窓会に新会員として入会する3年次生を迎え入れる儀式です。本校の同窓会は、旧制本巣中学校と旧制本巣高等女学校の卒業生に始まり、本巣高等学校から現在の本巣松陽高等学校までの流れを汲む32,300人超の会員で構成されています。本部のほか関東と名古屋に支部があり、活発に活動しています。本日は188人の入会を歓迎するとともに記念品を贈呈し、各クラス代表者に理事の委嘱を行いました。卒業10・20・30年の節目には、理事を中心に学年同窓会を行います。



1月に行われた令和6年度岐阜県高校柔道新人大会兼第47回全国高等学校柔道選手権大会県予選の男子個人戦の部66kg級において、本校の林侑聖くんが優勝しました。この結果を受けて林くんは、3月19日に日本武道館で行われる第47回全国高等学校柔道選手権大会に、男子個人66kg級の岐阜県代表として出場します。

柔道の聖地である日本武道館で行われる大会に出場できることを、林くんは大変楽しみにしながら稽古に励んでいます。

現在、本校に柔道部はありません。しかしかつてあった柔道部の歴史をさかのぼると、昭和初期に本校の前身である旧制本巣中学校が、柔道部の黄金期を迎えたことがありました。県大会優勝を重ね、全国大会では準優勝という素晴らしい成績を残したことがありました。なお、直木賞作家として有名な豊田穰氏（昭和12年卒）も、黄金期の柔道部の一員として活躍しました。

林くんの健闘を祈ります。頑張れ！！

2月18日（火） 加藤記念奨学会臨時評議員会、総合的な探究の時間（1・2年次）



公益財団法人加藤記念奨学会の臨時評議員会が行われました。

本校には、独自の奨学金制度があります。それが、本校出身の加藤利一氏（故人）が「後輩たちのために」と多額の私財を投じて設立された加藤記念奨学会です。社会に貢献するため頑張って学校生活に励む生徒に対し、奨学金が給付されます。貸与ではなく給付（返済不要）というのが大きなメリットで、後輩思いの先輩の気持ちを大切に、奨学金が活用されています。



7限に総合的な探究の時間がありました。

本年度最後の探究の時間ということで、本年度の取組について、各自で振り返りを行いました。

2年次生は、地域課題探究型学習発表会を終えて、その反省と改善点や、次にどのようにつなげていくかを考えました。

1年次生は探究発表会の振り返りや、先輩たちの地域課題探究型学習発表会を見て、次年度にどう活かすかを考えました。

地域の一翼を担う本県市内唯一の公立普通科高校として、地域課題を考えていきます。

2月17日（月） 調理実習（1年次）



1年次の授業「家庭基礎」で、調理実習を行いました。

本日のレシピはフォンダンショコラです。生徒たちは前回の授業で、流れについてシミュレーションをした上で、今回の調理実習に臨みました。チョコレート、バター、生卵、薄力粉、粉糖を材料とし、シミュレーション用紙に従い、グループのみんなで協力し合っ
てスムーズに取り組んでいました。中にはなかなか焼き上がらないものもあり、オーブンとにらめっこしながら進めているグループもありました。焼き上がり後は仲間と笑顔で食べる生徒や、家族にお土産として持ち帰る生徒がいました。ちなみにどのグループのフォンダンショコラも美味しそうでした。

調理実習に限りませんが、準備から片付けまで、そのすべてが実習です。今回のようにシミュレーションしながら、見通しを持った行動をとることは大変重要ですね。

2月14日（金） 3年次有機化学実験



3年次生が自宅学習期間に入る前のことですが、3年次理系コースで有機化学実験を行いました。

今回は2種類の実験を行いました。1つは合成繊維として知られるナイロンの合成です。いくつかの薬品をビーカーに入れてできる塊を、試験管に巻き付けます。これがいわゆる「糸」です。これを基に衣類が作られます。まさに化学薬品から生まれる繊維、「化学繊維」といわれる所以です。この「糸」の強度を高めたものが、衣類に用いて実用化されています。もう1つはアゾ染料です。いくつかの薬品を混ぜた水溶液に、繊維布を浸して染色します。薬品の様子を見ながら、どのように染色されていくかを観察します。ともに大切なことは、構造式やメカニズムです。

理系コースの生徒が将来大学での研究に役立つ実験や内容を取り入れています。

2月13日（木） 令和7年度前期生徒会役員選挙



令和7年度前期生徒会役員選挙が行われました。

在校生は生徒会の一員であり、その代表を務めるのが生徒会執行委員会です。高校では、中学校以上に生徒の自主性が認められており、生徒会執行委員会がその中心を担って活動しています。特に本校においては、银杏祭（文化祭）、球技大会や生徒会企画LHRはもちろん、会誌『银杏』の発行や校内におけるスマートフォンの取り扱い方など、単なる学校行事から学校生活のことまで、幅広く活動しています。

本校の生徒会役員選挙は、会長と副会長を対象としています。今回の選挙に向けては、1月20日に選挙管理委員会の会議が行われ、告示（日程発表と候補者受付）を経て本日に至っています。

本日はまず7限に、立会演説会を行いました。その後、各HR教室にて投票が行われ、開票所にて開票が行われました。

結果は明日、選挙管理委員会の幹部生徒により、放送と掲示で発表されます。今後は会長と副会長を中心に、他の執行委員会のメンバーを決めて新体制発足の準備を進めます。

2月12日（水） 松樹植栽



松樹の植栽が行われました。

本校では令和3年度より3か年にわたり、新校舎建築及び校舎等改修工事が進められてきました。その過程で、工事車両出入口を設けるため、正門南側の盛り土を崩しました。すでにその場所には再び盛り土を築きましたが、この度、松樹8本を植え直すこととなりました。

校名にあるとおり、松樹は本校のシンボルの1つです。かつては校地の周りなどに約320本の松の木々が存在しましたが、改修等の影響で伐採を余儀なくされました。しかし今現在でも、本校の校地には223本の松樹があります。

新校舎はじめ校舎の改修が行われ、さらに自然豊かな環境……。本校には学びの園としての充実した環境が整っています。

2月10日（月） 自習室（3年次）



3年次生のための自習室が開設されました。

本日より27日（木）まで、3年次生は自宅学習期間に入りました。これから入試本番を迎える生徒のうち、希望者は引き続き登校して、自習室で勉強に励みます。

自習室を利用するメリットは2つあります。1つ目は、生活リズムを維持できることです。自習室利用については自由な時間に登下校できますが、これまでの正しい生活リズムで勉学に臨めます。2つ目は、疑問をすぐに解決できることです。何かわからないことがあれば、職員室の教員に相談してすぐに解決できます。

それぞれの進路実現に向けて、まだまだ頑張りましょう！

2月7日（金） 年次集会（3年次）



3年次の年次集会が行われました。
3年次生は、10日（月）から27日（木）まで自宅学習期間に入ります。この期間、大学入試が佳境を迎えて登校できない日が増えるため、3年次生は自宅で学習します。登校して勉強したいという生徒にも対応できるよう、校内に自習室を設け、スピーディーに教員に質問できるようなサポートもします。

本日の集会では、進路支援部長からは受験を中心とした勉学の話、年次主任からは生活についての連絡をしました。

3年次生のみなさん、健康と安全に気を付けて生活しましょう！

そして、これから本番の受験生、頑張り！

2月6日（木） 英語作品展示



英語の作品展示について紹介します。
学校設定科目の「英語会話」で創った作品などが廊下に展示してあります。

本校のALTが担当する授業において創作した生徒の作品や、ALTのダイアリーを展示してあります。内容は時々入れ替わりますし、短めの文章がたくさん載っているため、生徒は通り過ぎる際に頭のトレーニングがてら目を向けています。

「学校設定科目」とは本校独自に設けている科目で、本校では国語科に4科目、地理歴史・公民科に1科目、理科に1科目、芸術科に3科目、英語科に3科目、家庭科に1科目、情報科に2科目と、多くの科目が準備されています。

さらに専門教科として、家庭科に4科目、体育科に1科目あり、進路に応じた多様な科目選択ができるのが特徴です。

大学進学のため、また進学後のための科目が豊富に準備してあることが本校の「押し」ポイントです。



本日は、雪の影響により休校でした。そのためオンライン授業を実施し、学習支援を行いました。

書道の作品展示について紹介します。書道科目選択者や書道部員による作品が、廊下に展示してあります。ただ筆で書くだけでなく、作品に用いる落款印も作成して押ししました。このうち「銀杏の下 ほゝえむ友と語り合う」と書かれた大きな作品は書道部員によるもので、昨夏に下呂市で行われた「清流の国ぎふ総文2024」書道部門会場に展示されました。

本校では、1年次で「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」、「書道Ⅰ」のうちから1科目を選択します。2年次または3年次の文系コースでは、1年次と同じ科目の「Ⅱ」を選択できます。さらに3年次文系コースでは学校設定科目（本校独自の科目）として、これまで履修してきたものと同じ科目の「表現」を選択できます。

卒業生に美術家や書道家の方々がありますが、部活動や授業や部活動で研鑽されたのでしょね。

2月4日（火） 地域課題探究型学習発表会



「地域課題探究型学習発表会」を開催しました。

2年次生がそれぞれのテーマで数人のグループに分かれ、フィールドワークなどを通じて模造紙にまとめた内容を発表しました。

聴衆は、寒い中お越しいただいた学校運営協議会委員、地域ファシリテーター、近隣中学校の校長先生、本高の職員（先生だけではありません）、そして1年次生でした。質疑応答では、質問に対してスムーズに答えられたり、人生の先輩からの深い質問に答えられずに新たな気づきを得たりしました。

1年次生は本年度、データ分析による探究活動を行ってきました。来年度は先輩と同様、発表を行う予定です。

探究活動では、1年次にデータ分析力を、2年次に知識と考察力のほか、模造紙1枚にまとめる中で文章力と要約力、そしてプレゼンテーションの力を養うことができます。ここで身に付けたスキルは大学入試における面接や大学入学後のプレゼンテーションに役立つこと間違いなしです。



3年次文系コースの授業「生活文化」で、花をいけました。

小桜などの花を剣山が入った器に、盛花としていけました。

「生活文化」という科目は、日常生活における基本的なマナーを身に付けて、相手への思いやりの心を持つことを学ぶとともに、日本の伝統文化である茶道、華道、着付け、伝統工芸実習を通し、理解と関心を深めることを目的にした、進学型普通科高校には珍しい科目です。

この科目は、家政学系の大学への進学を目指す生徒に役立っています。

公益財団法人加藤記念奨学会の臨時理事会が行われました。

来年度に向け、本年度の事業等の報告や、来年度の計画等が話し合われました。会議後は、代表者たちで展墓をしました。

加藤記念奨学会は本校に事務局を置く、独自の奨学会です。本校の前身である旧制本巢中学校の卒業生である加藤利一氏（左写真）が、「後輩たちのために」と多額の私財を投じて設立されました。有為な社会人を育成することを目的に、学業及び人物がともに優秀な生徒に奨学金を支給（返済不要）しています。

頑張って学校生活を送る高校生に、返済しなくても良い奨学金がもらえるのは大変ありがたいことです。「社会に貢献できるよう進路を考え、自分の夢を実現したい」と語り、この奨学金を有意義に利用してくれている奨学生が多くいます。